

ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと ふくしま商・工・人

P2	ヒストリーインタビュー
P3	「旭日単光章」を受章 ローヤル油機株式会社
P4	青年部・女性部だより
P6	「福島の美味しいもの 食のフェア2017」報告
P8	元気印!!ズームアップ
P10	Information 商工会だより
P12	掲示板

“富岡町復興”のシンボル。富岡町の「富岡ホテル(株)」さんにお伺いしました。

ヒストリーインタビュー

自分たちで何かできないかー避難中に蘇った生き甲斐探しがホテル開業の原点ー
富岡町・富岡ホテル株式会社

2017.12.1
Vol. 378



自分たちで何かできないか 避難中に蘇った生き甲斐探しがホテル開業の原点

「富岡町復興のシンボルというべきホテルが十月開業しました。富岡駅から徒歩一分、常磐自動車道・富岡ICから車で十五分という立地を背景に「富岡ホテル」はオープン。地元経営者八人の「生き甲斐を形に」を足掛かりに始まった町づくりに取り組み心意をご紹介します。

富岡で成り立つ商売を！

避難中の平成二十四年五月に大玉村の仮設店舗で渡辺さんは富岡町の顔見知り仲間三人で商売を再開。その最中、将来的に地元・富岡で何かやりたいという思いが募ったと言います。「将来にわたり地元でできることは何か、人生後半にさしかかった自分たちの境遇もあり悩みました」。

一人よりも皆でやれること、富岡でも成り立つ仕事を優先することに模索の日々を送り、地元環境を考えた結果「宿泊施設」というキーワードにたどり着いたそうです。渡辺さんは自宅を津波で流され、被災と原発で地元商店を離れたからこそ住居に対する思いが優先されたのだろうと思います。

小規模事業で、共に後継者に課題を抱えた経営者同士が傷心の境遇から自力で立ち上がり、地元に戻り人生の生き甲斐をみつけようとしたそうです。「自分たちが地元で頑張れば、誰か戻ってきた時、働く仕事があれば意識も変わるのではないかと思いました」。渡辺さんたちの思いは伝わり四十代の若手経営

者にも理解され、有志三人はやがて八人となり新事業に向かって拍車がかかりました。

ゼロからのスタート。事業計画は？

多くの人たちの支援や助言をいただき開業にこぎ着くことができました。容易ではありませんでしたがコンサルタント支援による採算シミュレーション、専門家派遣から受けた国内・宿泊業の現状を学び「大変なことを始めてしまったと思います」(笑)。生業が経営者の八人だけに、資本を投下すると次第に本気で取り組む気持ちが高まり計画への議論も白熱、ホテル事業に対する認識も共有されました。

経営陣の連係は？

「八人全員で負債を抱え出資していますから平等です」。相談の後、渡辺氏が適任として代表者に委任された経緯もお聞きしました。「一致団結して取り組んだのは、正社員の募集と面談確保でした」スムーズに開業する最も大事なことを全役員で乗り越えたのが絆と事業に対する思いを感じさせます。

事業の採算性について

「当面のお客様は復興事業に従事される方と考えています」もう一つの役割として「町の出身者で避難中、しかも住居がない人でも、郷里を訪ねたいという人たちのための一時逗留場所になりたい」という思いもあります。「復興し変わりがく富岡をすこしずつ見ることでこれから判断していただけることも大事なかなと考えています」。

渡辺さんは「宿泊を判断するのはお客様一先だと言います。宿泊規模として全六十九室、内訳はツインが三室、シングル六十六室を構えるものの、単なる宿泊機能だけに留まりたくない考えです。エントランスや館内は段差のないフロアー、室内は浴室とトイレの完全分離など安全対策や快適性にも配慮されています。さらにはインターネット無料接続、小会議室、コインランドリーなどビジネス利用のお客様へ設備を充実しています」。

現状の特長とアピールポイントは？

夜の食事の工夫として「ミニバイキング、プラス手作り料理」を提供する新メニューです。メインの料理は揚げたて、ゆでたて、焼きたてで手間暇をおします提供することです。安全な食材と鮮度とともにおもてなしの追求に取り組んでいます。

サービスの充実のための今後の課題は？

「やりたいことは多くあります。でも

苦勞して採用したスタッフを大事に雇用維持したい。」雇用確保は日本の全企業における課題でもあるが、勤務地が富岡となれば応募者は極端に少なくなります。採用したスタッフを「真のホテルマン」に育てる時間が必要、サービスの多角化をはかり売上を上げる欲求を踏みとどまる経営者の忍耐力も問われています。

レストラン部門で朝時間のパートタイム雇用は喫緊の課題。給与の問題ではなく相馬やいわきからの通勤時間や居住環境なども経営の足かせになっています。「当面は全員シフトで宿泊利用者に徹底したサービスに努め、顧客満足度を高めることに傾注します」と話しておりました。

人生後半の生き甲斐からスタートした事業は、ホテル業にとどまることなく富岡住民交流の場となり、地域住民の食事会要望や問い合わせに繋がっています。「ホテル」「レストラン」「交流」の三つが町の活性化の一助になることを期待しています。



企業概要

企業名 富岡ホテル株式会社
代表取締役 渡辺 史
住所 〒979-1121 福島県双葉郡富岡町
大字仏浜字釜田122-6
TEL 0240-22-1180
0240-22-1182
FAX 2,400万円
Eメール 2017年10月
LP 金業 P
HP https://tomiokahotel.jp

「旭日単光章」を受章 ローヤル油機株式会社

いわき市四倉町の佐藤忠義氏(ローヤル油機株式会社・代表取締役)は経済産業省の推薦により今年秋の叙勲で「旭日単光章」を授与されました。昭和四十三年に産業機械用潤滑油を扱う会社を設立。地域に密着し業績を伸展。他社が手掛けない多品種少量・小ロット販売で新たなビジネスモデルを構築。平成二十六年は経済産業省・中小企業庁の「がんばる中小企業三〇〇社」に選ばれました。これまでの経営手腕と潤滑油「筋」に取り組んできた真摯な生き方についてお聞きしました。



**「旭日単光章」受章おめでとうございます。
創業から潤滑油四十九年、その魅力に
ついては、**

機械が動きモノができるということは人の役に立つお手伝いだと考えています。その機械が長期間動くことが大切であり当社の仕事のスタート地点でもあります。部品と部品の摩擦が少なくなればスムーズに動きます。人間と同じですね。ですから「機械に愛を届けます」が仕事のモットーです。社名「ローヤル」は「Loyal(忠誠心)」から引用しお客様に尽くしますという理念を込めたものです。

「この仕事に着眼されたのは？」

父が極東オイルの東北営業所長として勤務していました。「Uターンするなら自分で仕事をしてみたら」と、アドバイスされたのが始まりで極東オイルの代理店として開業しました。経済学部卒業の素人ですから必死でした。どうしたら「流のお客様」に買ってもらえるのか腐心しました。営業でわかったことは、一流のお客様は一流メーカー商品を買ったこと、一流の営業技術を提供する人(会社)から購

入するということです。単なるモノ売りは昔も今も認めてもらえない(笑)。

「商売として手応えを感じたのは？」

創業して二年目の昭和四十五年に住鋳潤滑剤(株)の特約店になり「二硫化モリブデン潤滑油」を扱ったことです。画期的で「センチ四方あたり二十八トンの重み加わっても潤滑し、劣化しない、四〇〇度までの耐熱性もあるため特約店として時流に乗りましたしお客様からの信頼も得ることができました。販売先は地元在住友セメント、日鉄八釜鉦山など大手企業へ通い、新規に取引先も増え販売量も増やすことができました。売るために潤滑油の技術や知識の習得は大変でしたが、お客様に納得して購入していただけたら真剣でした。顧みますとティアック勤務時代に資材課だったのが役立ちました。売り手と買い手双方の気持ちが理解できたおかげで、販売の要諦を掴むことができました。

「多品種・小ロット販売は「ニッチ市場」ですか。特化した「ビジネスモデル構築」ができた背景は？」

経験と知識は積極性に繋がりますね。他

のメーカー商品も扱ったことが転機です。特に東京電力との取引においては購入するオイルメーカーと必要量など細かい指示がありましたが、おかげで仕入先が増え、同時に販売先も増やそうと営業活動を積極的に行いました。潤滑油は用途により大量に使わない場合があります。納品は一缶でも、メンテナンスが終われば残った缶と中身は邪魔になる。お客様から「持って帰って」と言われたのがきっかけです。当時プラスチック製のジャバラに詰めたグリースが販売され始め、仕入れて二本から販売するようになりました。お客様の現場で「必要な時必要な量があればいい」と理解できたからです。メーカーも同業他社も手掛けたくないニッチな市場でも専門性を高めることで市場ニーズがあります。平成十年にホームページを開設して多品種を分類し潤滑油とグリース機能について比較情報を掲載してみました。お客様自身で用途に応じた選択ができるため新たな受注が拡大しています。また多様化するニーズに対応するためメーカーと共同開発した自社ブランド「ローヤルグリース」の商品化に展開できたのだと思います。

「これからの事業展開についてのお考えは？」

現在三〇〇社以上のお客様と取引をいただいております。今後、少子高齢化に対応する新たな分野の機械化が必要となりますから、潤滑油・グリースの需要もあると推測しています。ニッチな市場は専門的知識やノウハウも要求されることでしょう。新たな市場ニーズの情報を把握しメーカーに提供する一方、お客様には的確なコンサルティング活動ができる企業が目標です。供給面での少量・小ロット対応ができるネットワークの整備や人材確保にも努力を続けてまいります。

佐藤忠義氏 略歴

昭和三十九年、大学を卒業後ティアック株式会社(東京都)に入社。昭和四十三年に郷里いわき市四倉町に帰省。実父のアドバイスでオイル販売の代理店を設立・創業。当初から潤滑油の販売を主とする。昭和四十五年には住鋳潤滑剤(株)特約店として二硫化モリブデン潤滑油の販売を開始。以後、各オイルメーカー各社も取り扱い潤滑油の専門企業として取引先からの信頼を得る。高崎経済大卒、昭和十七年生まれ。趣味はサイクリングと卓球。



企業概要

- ◆ 企業名 ローヤル油機株式会社
- ◆ 代表者 代表取締役 佐藤 忠義
- ◆ 住所 〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前107-4
- ◆ 資本金 1,000万円
- ◆ TEL 0246-32-6657
- ◆ FAX 0246-32-6658
- ◆ 設立 昭和43年4月8日
- ◆ HP <http://www.loyal-grease.jp/>

～優秀賞に橋本 勝さん(矢吹町)～

商工会青年部主張発表東北・北海道ブロック大会



福島県代表 橋本勝さん

平成29年8月29日、青森県三沢市「ホテルグランヒルつたや」において第24回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに商工会青年部主張発表東北・北海道ブロック大会が開催されました。

各道県を勝ち抜いた代表者7名がテーマに基づき、青年部活動において常日頃抱いている想いについて発表する商工会青年部主張発表東北・北海道ブロック大会では、福島県代表の橋本勝さん(矢吹町商工会青年部)を応援するため76名の大応援団が福島から会場に駆けつけ、大声援を受けた橋本さんは堂々とした素晴らしい発表を行いました。

代表者7名の発表が終了し審査委員による審査会が開かれましたが、拮抗した発表内容により予定時間を超えての審査会となりました。結果は惜

しくも最優秀賞とはなりませんでしたが、主張発表を通じて東北・北海道の青年部員に地元を想う熱い気持ちは伝わったものと感じられました。

主張発表大会後の部員交流研修会では、「IMPULSE INNOVATION」を演題に全国商工会青年部連合会 越智俊之会長による基調講演が行われました。

また、国見町商工会青年部が、東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会長表彰「優良商工会青年部」として表彰されました。



福島県青連 in 三沢市

第6回商工会うまいもんNo.1決定戦を開催

福島県商工会青年部連合会主催による第6回商工会うまいもんNo.1決定戦が10月28日(土)～29日(日)の2日間にわたり、小野町「小野運動公園」で開催しました。県内各地の20商工会が自信をもってオススメする地元の「うまいもん」が集結し、来場者の舌をうならせていました。来場者の投票の結果、松川町商工会青年部の「あっ!プルプルからあげ」が優勝の栄冠に輝きました。

第6回商工会うまいもんNo.1決定戦結果

- | | | |
|------------|-----------------|------------------|
| 優勝 | 松川町商工会青年部 | 「あっ!プルプルからあげ」 |
| 準優勝 | 滝根町商工会女性部 | 「滝根カレーコロック きむコロ」 |
| 第3位 | 田村地区商工会青年部連絡協議会 | 「三春グルメンチ」 |



小野町大和田町長と出店者の方々



優勝した松川町商工会青年部

～ありがとう 輝く笑顔で おもてなし 清流の国 ぎふ!その出会いが未来へ～ 第19回商工会女性部全国大会in岐阜(女性部長研修会)

商工会女性部全国大会が、平成29年10月19日(木)に岐阜県下呂市「下呂交流会館」において約1,900名(福島県参加者38名)が参加し盛大に開催されました。

また本年も、福島県は2年連続、東北・北海道ブロック代表としてまちづくり顕彰を受賞しました。今年も、内郷商工会女性部が、全女性連末武会長より盾の授与が行われました。

主張発表大会においては、テーマ「女性部活動と地域振興・まちづくり」～心で香る贈り物～と題し発表した沖縄県(九州ブロック代表)の発表者(石垣市商工会女性部 浦内由美子さん)が最優秀賞となりました。大手化粧品会社と連携し、ご当地香水(夜香木)の開発に携わり、会社設立まで至った内容でした。

その他には、文字職人の杉浦誠司氏による「言葉の力で開く道」と題した基調講演が行われました。



大会会長挨拶：末武全女性連会長



オープニングセレモニー



基調講演：杉浦誠司氏



まちづくり顕彰：内郷商工会女性部



全女性連末武会長と福島県参加者の皆さん

人気ランキング

会場内において、来場者から『気に入った店舗のアンケート』を取り、そのアンケートの投票数が多い上位3店舗が表彰された。



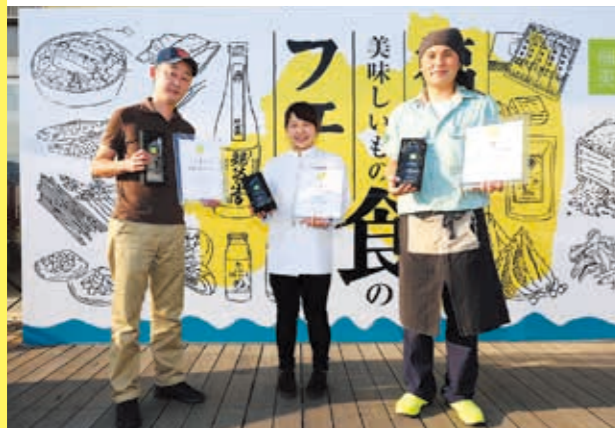
旬かぎや



バウムラボ 樹楽里



福島りようぜん漬本舗



人気ランキング結果(左から)

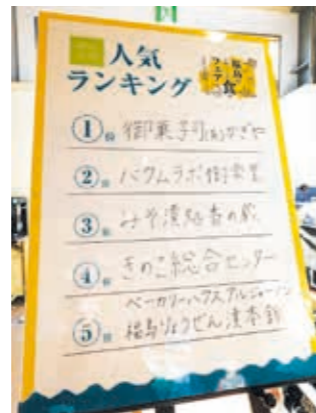
- | | |
|---------------|-------|
| 1位 旬かぎや | (鏡石町) |
| 2位 バウムラボ 樹楽里 | (松川町) |
| 3位 福島りようぜん漬本舗 | (伊達市) |



オープニングセレモニー
テープカット



平成29年9月9日(土)から10日(日)までの2日間、いわき市『小名浜美食ホテル 小名浜潮目交流館』において34事業所、野外ブース6事業所、合計40事業所の出展により開催、天候にも恵まれ観光地という環境で、多くのお客様に福島県の食材を使った加工食品“美味しいもの”魅力を感じていただくことができました。



人気ランキング 初日『中間報告』
2日目巻き返すのか？



◀お母さんから子供まで家族全員で楽しんでいただきました

『福島の美味しいもの 食のフェア2017』

震災後、経営支援の一環として被災事業者に対し復旧・復興支援を展開して参りましたが、東日本大震災に起因する(株)東京電力福島第一原子力発電所事故の影響による風評被害が長期化するなど本県産食品の消費低迷を鑑み、本県産食品のブランド再生を目的とした展示商談会を開催いたしました。



2017.9.9(土)-10(日) 10:00-16:00

いわき市 小名浜美食ホテル 小名浜潮目交流館
http://www.fukushima-bimi.jp/iwaki2017/

福島
美味

- 【東北】 お漬物 八島食品 / 肴 肴利田屋 / 海産物 高橋 / バウムラボ 樹楽里 / 福島紅葉漬物 / ふくしま農家の夢ワイン / 福島りようぜん漬本舗
- 【関東】 石塚製菓 / 餅菓子 旬かぎや / きのご総合センター / 陸奥 / みやこスイーツゆい
- 【関東】 坂本製菓 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里
- 【関東】 会津高砂屋 / 会津高砂屋 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里
- 【関東】 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里
- 【関東】 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里 / 餅菓子 樹楽里

各ブース大盛況で完売続出でした



福島りようぜん漬本舗、福島紅葉漬物、企業組合びかりん村、会津高砂屋、(株)久小林商店、会津湯川の里、企業組合とんぼのめ、淀屋、笹屋皆川製菓、(株)金子牧場、バウムラボ 樹楽里、(株)和和屋、寿楽園茶舗、(株)八島食品、ふくしま農家の夢ワイン(株)、(株)昇栄、ベーカリーハウスアルジャーノン、和伊んや、鈴木 穂店、坂本屋総本店、(株)ルバーブの島田農園、(株)大福食品、福福堂、きのご総合センター(株)、石塚味噌店、旬かぎや、(株)コネクション、(株)ワンダーファーム、(株)あぶくま川内、みそ漬処 香の蔵、(株)旭屋、(株)マツバヤ、欧風創作菓子 ふたば茶亭、食処 くさの根(株)、ヤマサ商店、(株)わらわら、(株)福相食品工業、高邑、山魅、みやこスイーツゆい

参加された40店舗のみなさん
ご協力ありがとうございました



オープニングセレモニー
書田会長主催者あいさつ



いわき市以外からも大勢の方にお越しいただき、ありがとうございました。

◀野外ブースも大繁盛

抽選会場にて大当たり500円商品券GET!!



抽選会場に並ぶ最後尾が外まで大行列▲

福島の美味しいもの 食のフェア2017【いわき】
にご来場いただきまして
ありがとうございました。
福島美味スタッフ一同
心から感謝申し上げます。

会津

北塩原村商工会

裏磐梯高原 呑んで泊れる 居酒屋のような宿



おやど風来坊
オーナー 鈴木 一美氏

〒969-2701
福島県耶麻郡北塩原村大字松原字菅原山1096-461
TEL 0241-32-3077
FAX 0241-32-3144
URL <https://www.flybow.jp/>

■事業所紹介

平成4年に裏磐梯の自然豊かな場所でオープンした『おやど風来坊』です。『宿泊出来る居酒屋』として、夏はサイクリングやフライフィッシング、冬はワカサギ釣り等のお客様が県内外からお越しになります。また、オーナー自ら岩魚等を燻製してお客様に提供したり、お客様と一緒にサイクリングなどを楽しみながら事業を行っております。さらに、奥様は事業以外にも村内イベントの司会を行うなどマルチに活動し、村内では知らない人がいないほど活躍されております。

■取組の内容

震災及び原発事故による風評被害でお客様が減少、現在もその影響を受け続けております。そんな折、会報に掲載した経営計画の作成に興味を持ち、今後の事業展開について相談にいらっやいました。現況についてヒアリングしたところ、平日のお客様が減少している反面、週末は満席でお断りしていることがわかり、それを改善することで売上・利益アップが図れると考え支援を行いました。店舗内診断を行った結果、飲食スペースのレイアウトを変更することで、ある程度は対処可能であることが確認できましたが、お客様の高齢化により注文品数や飲酒量の減少など、客単価が減少している点も改善させる必要がありました。その為には飲食スペースの改装及びレイアウト変更を行う必要があった為、持続化補助金を



活用して店舗改装や囲炉裏を備え付けたテーブル及びイスを導入しました。また、レイアウトの見直しにより15席から22席に増席し、週末のお客様をお断りすることが少なくなったほか、備え付けの囲炉裏でお客様自身が様々な食材を調理するスタイルによって長時間滞在して頂くことが可能となりました。さらに、大人数で座れるテーブルを導入したことにより、個人で宿泊されるお客様が他のお客様と同席して話をされることが多くなり、付随して食事や飲酒量も多くなり売上アップを図ることが出来ただけでなく、お客様の交流の場としてもご利用頂き、お客様からも大変好評を得られるようになりました。

■会員事業所より

山形県生まれの自分と愛知県生まれの妻。二人とも全く知らない土地でのペンション経営。抱えきれないほどの夢を持って始めました。毎日毎日がむしやりに働き、気が付けばあつという間の26年。幾つかの大きな節目もありました。オープンしてまもなく娘の誕生。大変な出来事も自分達にとって大きな励みになりました。そして忘れられない悲しみ、東日本大震災、さらに風評被害。それから6年が過ぎた今でさえその痛みは消えることはありません。商工会員である私達は数々の場面でサポートして頂きました。今回の補助金制度によりダイニングルームを改装。何度も足を運んで頂き、アドバイスももらいました。会長を始め職員のみなさんの温かなお人柄に感謝しています。リニューアルしたダイニングで気持ちも新たに仕事が出来、まだ頑張れる!まだ頑張れる!! そんな思いの私達です。



浜通り

小高商工会

ほっとできる居場所



Sarasa ~更紗~
オーナー 今井 一江氏

〒979-2124
福島県南相馬市小高区本町1-45
TEL 0244-44-5446
営業時間/17:00~
定休日/毎週木曜日

■震災と原発事故を乗り越えて

平成23年3月11日、その日を境に全てが変わってしまったのです。あれから6年5カ月後、私たちは苦難を乗り越えて“更紗”を元の場所で再開することが出来たのです。この軌跡を、ニュースクリップへ綴りたいと思います。震災前より当店は、美味しい手料理とお酒が自慢のお店でしたが、東日本大震災と原発事故により、私たちの生活は一変し一時は生業の存続を諦めたこともありました。震災から間もない平成23年11月、知り合いの紹介で隣接する南相馬市原町区に賃貸の店舗が有る、そこで仮に再開しないか?との嬉しい誘いがあり、早速営業を開始しました。初めは何人位のお客様が、いらしてくれるのか?不安で一杯でしたが、いざ始めてみると小高区のお客様が多く来店され、さながら“小高の更紗”を、思い起こすようでした。

■火災焼失

しかし平成28年3月9日の深夜に貸店舗が全焼し再開のきっかけが奪われてしまったのです。震災と原発事故、更に火事と当時は打ちひしが



れる思いでしたが、小高に戻り「再び更紗を開店したい」「ほっとできる居場所を作りたい」という熱い思いが、店舗再建の動機付けになりました。

■商工会の伴走型支援・補助金活用(原子力被災事業者事業再開等支援補助金の活用)

再開するためには店舗新築工事費と厨房機器を購入することが絶対条件でした。それには補助金に該当するのか確認を取ること、補助金申請書類の作成も必要でした。そこで以前から決算指導でお世話になっている商工会へ相談したところ、補助金申請書類の作成をお手伝いいただき、添付する資料の準備も順調に進み交付決定とスムーズに事が運び、平成29年5月に待ち焦がれた再開店へ漕ぎ付けることが出来ました。



■今後について

平成29年10月、再開店し5カ月が経ち、お客様の来店数も増えてきました。今後は“持続できる経営”と“ほっとできる居場所”を大切に、引き続き商工会の支援を受け頑張りたいと思います。

経営支援レポート

元気印

ズームアップ。

県内4地域の商工会から、地域でがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せ下さい。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県北

あだたら商工会

地域のコミュニティの場を目指して



蕎麦音(そばね)
代表 増田 英記氏

〒969-1404
福島県二本松市油井字背戸谷地20-8
TEL 0243-24-6160
営業時間/11:00~15:00
17:00~21:00
定休日/毎週火曜日

■事業所紹介

10年ほど前から蕎麦屋で修行を始め、40歳を目標に自分の店を持ちたいと思い、本年3月30日に空き店舗を活用し、JR安達駅前徒歩3分という好立地に念願のお店をオープンしました。そばを食べるときの「ズズズ」という音が大好きで、店名は蕎麦に音で「蕎麦音」(そばね)にしました。店舗は、以前運送会社の事務所であったため日当たりがあまりよくない暗いものでしたが、二本松市の「創業支援空き店舗等活用事業補助金」を活用し、木材をふんだんに使用して、明るくぬくもりが感じられる店舗に改修し



ました。当店の看板メニューは、会津坂下の契約農家から仕入れる玄蕎麦を金白引きした「蕎麦音」と季節ごとのおいしい蕎麦の実を全国各地から取り寄せ、石臼でひいた蕎麦粉を使った十割蕎麦

「田舎」の2種類の蕎麦です。また、四季折々の旬な野菜の天ぷらなどその時期一番おいしい食材をつかったお料理をお客様に提供しております。現在は秋メニューのきのご蕎麦や芋煮蕎麦がご賞味いただけます。また、夜は蕎麦がでるまでに前菜や主に二本松市のお酒が楽しめる蕎麦前セット、若い女性に好評の蕎麦ガレットも提供し、幅広い年齢層の方が気軽に立ち寄れる地域のコミュニティの場を目指しています。

■商工会と手を携えて

創業するにあたり、まず商工会へ相談に行きました。商工会では、毎月1度創業無料相談会を開催しており、毎月欠かさず出席し、専門家による経営のアドバイスを受け大変勉強になりました。また商工会には事業計画書の見直しや、市補助制度の申請、金融・税務等あらゆる支援をしていただきました。また創業後も、記帳支援や労働保険、販路拡大等経営支援を継続していただいています。今後も経営での困りごとは頼れる商工会へまず相談していきたいと思ひます。



県中・県南

石川町商工会

『黒毛和牛』の美味しいお肉



有限会社 鈴木畜産
代表取締役 鈴木 智巳氏

〒963-7804
福島県石川郡石川町坂路字馬場宿78
TEL 0247-26-1721
FAX 0247-26-1732
URL <http://hachimitsugyu.com>

■企業概要

昭和10年に畜産業として創業し黒毛和牛を、自然豊かな山間の牛舎で限りなく自然に近い環境で肥育することをモットーにしています。平成7年から牛の疲労回復とストレス軽減のために「はちみつ」を与える、当社こだわりの肥育方法で黒毛和牛を育てています。自社のブランド牛として「石川はちみつ牛」と命名し、平成12年に商標登録を取り、ブランド化を進めてまいりました。平成10年に法人化し、後継者が食肉の間屋で5年の修業を終え家業に従事し始めた平成13年からは自社での牛肉の販売も取り組み始めました。

■加工食品の製造販売への進出

当社こだわりの和牛「石川はちみつ牛」を一般のお客様に気軽に食べてほしいという思いから、加工食品の製造にも取り組みを始めました。当社の「石川はちみつ牛」の甘味と旨味を最大限に引き出すために、何度も試行錯誤し出来上がったのが、現在の牛肉ハンバーグやローストビーフです。商品化してすぐに売れる事は非常に難しく、初めは後継者が自分で町内の飲食店や温泉旅館にロース



トビーフやハンバーグを持ち込み、卸の取引を増やし、現在は卸先から受注が来るようになりました。今後は、さらに加工食品の製造量を増やして行く予定です。

■ブランディング化への取組み

畜産業から加工食品の製造販売まで取り組むようになり、当社の「石川はちみつ牛」の知名度を上げたいと考えました。そこで、昨年から石川町のまちづくり事業と一緒に取り組んでいる商工会の経営指導員に、知名度を上げたいことを相談しました。一緒に事業のスケジュールリングを行い、やりたいことの順番を決めたことで、今後は何をやるのか確認しながら進めています。経営指導員から説明を受けながら、初めて自社の事業概要と経営計画書を作り、「持続化補助金」や「福島県6次化ステップアップ補助金」を活用してロゴマークを新しくして今までの当社の畜産業のイメージを変えることやHPでのプロモーション、当社の加工食品のパッケージングの一新など知名度を上げるとともに新しい販路開拓へ向けた様々な提案とアドバイスを受けながらブランディングに取り組んでいます。当社の「やりたいこと」の実現に向けて、常に一緒になって取り組んでくれる商工会は、身近なコンサルタントとして心強い



個々事業者の経営力向上と地域活性化事業

田村町商工会



田村町商工会長の川島忠です。

田村町は福島県郡山市の東部に位置し国道四十九号線が通り、郡山市内へのアクセスが比較的便利なことから、桜ヶ丘団地や東山ヒルズをはじめとする住宅団地も点在しております。一方で東北地方最大級の前方後円墳である大安場古墳や古代遺跡、郡山市指定史跡に選ばれた守山城や田村神社など史跡が数多く残されている歴史ある町でもあります。戦後は郡山中央工業団地や日本大学工学部のキャンパスなど、それぞれ郡山市内最大級の工業団地と市内最大の大学として郡山地域の産業を支えております。

地域の経済としては、震災以後、風評被害の長期化や若年層の人口流出、平成三〇年には消費税の増税など課題が山積しており、商工会が果たすべき役割はとても重要と言えます。地域が発展するためには、まずは個々事業所の経営力

を向上させることが重要と考えており、商工会としては経営講演会の開催や経営セミナーによる支援・経営革新承認支援、経営計画の作成等に取り組んでおります。地域に根ざした総合経済団体として、常に頼られる商工会を目指し支援をしていきたいと思っております。

また、地域振興事業としては地域への還元を目的に「たむらまち商工感謝祭」を開催しております。今回で第十一回を迎え、地域の住民は毎年楽しみにしている恒例のイベントとなっております。今後も地域活性化のため継続して開催していきたいと思っております。

経営講習会

経営力の向上を目的に新年講演会を例年開催しております。今年度は「経営の小さな視点」をテーマに経営コンサルタントの波多野卓司氏をお招きして講演会を実施致しました。参加者四十名が講師の話に耳を傾け、メモを取るなど熱心に受講されておりました。継続事業として講習会を実施していることもあり、確実に成果が現れてきていると感じています。今後は経営計画の作成等、ステップアップ



講演会

した内容で実施していきたいと思っております。

たむらまち商工感謝祭

商工会とスタンプ会を中心に実施しております。今年で第十一回を迎えることができました。回を重ねるたびにパワーアップした内容となり来場者も年々増えております。今回のステージイベントは、元タカラジエンヌの真灯かなた氏による「フカシギヤ呉服店」の上演をはじめ、地元幼稚園の遊戯、帝京安積高等学校和太鼓部の演奏がありました。会場内ではマグロの解体ショーやもつたない市・大抽選会・子供縁日コーナー・飲食ブースととても賑やかに開催することができました。台風による悪天候の中ではありますが、たくさんの方々があ

り、大変盛況となりました。地域に還元する目的も達成することができ、商工会の存在価値を高めることができました。



商工感謝祭



Information

商工会だより

大越町の地域活性化に向けて 大越町商工会



大越町商工会会長
の菅野幸治です。

大越町は磐城自動車道と国道三四九号が町の東部を南西に走り、田村市の南西に位置しています。大越町は平成十七年に滝根町、大越町、都路村、常葉町、船引町の五町村で合併し、田村市となりました。合併から十二年が経過し、人口は当時の五千五百人から現在は四千六百人と大きく減少しております。大越町は古くはタバコ産業が活発に行われ、また、戦後昭和三十八年には住友大阪セメント田村工場が操業し、人口が増加し町に活気がありました。しかし時代とともにタバコ産業は衰退し、平成十二年には住友大阪セメント田村工場が閉鎖されて産業の空洞化が進んでおります。また、他町村と同様に年々少子高齢化が進んでおり、地域の商工業、特に小売店は厳しい状況にあるのが現状です。

しかしながら、現在は住友大阪セメント田村工場跡地を産業団地として整備し、企業を誘致してい

るところでございます。多くの企業が誘致されれば、雇用機会や人口の増加など地域の活性化につながると期待しております。また、平成三〇年には大越町の牧野地区に走る常磐自動車道にスマートインターチェンジが整備されるようになっており、交通の利便性の向上により交通量が増加し、小売店等の活気につながることを期待しております。このような条件を活かすためにも商工会が会員の皆様一人一人へのサポートをしっかりとしていく必要があると考えております。

地域振興事業と 田村市商工会広域事業

毎年九月の敬老会の日は大越行政局の駐車場を利用して商工祭を開催しております。会員事業所の出店と各種イベントを開催し、街の皆様楽しんでいただいております。大越小学校の合唱や大越こども園のお遊戯がステージで始まり、おばあちゃんやお孫さんを見に来るおじいちゃんやおばあちゃんやご家族の皆様で賑わいます。今年の商工祭では子ども達を対象としたイワナのつかみ取りを開催し、普段できない体験に子ども達の楽しんでいる姿を多く見ることができました。また、

大越町商工会では毎年その年のカレンダーを作成し、大越町の世帯全戸と関係機関に配布する事業を行っております。商工会のPRを兼ねたカレンダーは皆様にご好評で、追加で欲しいとの声も頂いております。事業の規模はそこまで大きくはありませんが、地域活性化のためにも今後も良い事業となるよう商工会が一丸となり取り組んでいきます。

また、田村市内の五商工会では平成二十八年、平成二十九年と事業再開・帰還促進プレミアム商品券の販売をし



商工祭お遊戯



いわなのつかみ取り



商工祭会場

ました。プレミアム率が三〇パーセントと高く、市内の多くの方に購入頂いております。町内での消費が拡大し、商工業の活性化につながることを期待しております。そして、平成二十八年八月五日には大相撲田村場所を田村市総合体育館で開催いたしました。田村市では初めての巡業の開催でしたので対応に苦慮しましたが、田村市内外から多くの方が訪れ、盛大に開催することができました。当日は小中学生を招待し、希望者にはちびっこわんぱく相撲も行うなど子どもから大人まで楽しんでいただけたと感じております。



カレンダー

事業者の皆様へ

事業所の「災害」への備えは十分ですか？

～中小企業・小規模事業者の被災時に事業継続を支援する共済～

休業対応 応援共済

火災共済または火災保険とセットでのご加入をお願いします

共済金のお支払い対象となる主な災害



従業員1名あたり **日額1万円の補償**をおすすめします

たとえば…従業員3名の場合、日額3万円まで加入いただけます。

おすすめプラン

共済金支払例

日額1万円

全損約定日数150日

一部損約定日数60日

全損



火災で建物が全焼。
店舗を再建し半年後に事業再開。

150万円のお支払い

一部損



地震で店舗が壊れ、店舗が復旧するまでに60日間休業し事業を再開。

60万円のお支払い

共済掛金(年間)

耐火建物(a級)

非耐火建物(b級)

3,740円

5,135円

お問い合わせ・お申し込みは、**福島県火災共済協同組合**または**商工会**へ



福島県知財総合支援窓口

県内唯一の知的財産に関するワンストップ無料相談窓口

経営課題の**解決は知財**で

TEL 024-963-0242

郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ2F

知的財産の活用についてお気軽にご相談ください！

窓口支援のポイント

- 1 支援担当者が悩みや課題を解決支援
- 2 必要に応じて専門家を活用
- 3 企業等での訪問相談も可能

(独)工業所有権情報・研修館事業 実施：一般社団法人福島県発明協会 <http://www.fukushima-i.org>



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。